

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ジェーシービー（証券コード: -）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
債券格付	A A
国内C P 格付	J - 1 +

■格付事由

- ジェーシービーは、日本発唯一の国際ブランド「JCB」を運営するカード会社。クレジットカードをはじめとして、決済に関する幅広いプロダクト・ソリューションを提供している。格付は、決済市場における極めて高い市場地位・競争力、良好な収益力および資本充実度、健全な資産の質、強固な流動性などを反映している。決済を取り巻く環境は競合や変化が激しいが、他社との提携などを通じて多様な収益機会を捉えており、決済市場における優位性は維持されると JCR はみている。
- 決済市場における市場地位・競争力は極めて高い。クレジットカードでは、会員・加盟店・受託業務の各分野で業界トップクラスの地位にある。国際ブランド業務を国内で唯一手掛け、有力カード会社の成長を取り込めることも強みである。キャッシュレス決済比率の向上などによる決済市場の成長とともに、国内外の会員数、加盟店数、カードショッピング取扱高の拡大が維持できよう。近時は法人決済、インバウンドなどを注力分野として強化しており、更なる収益源の多様化が進むか注目していく。
- 収益力は高い。リスク・リターンでみた収益性は良好な水準にあり、基礎的な利益で一定の貸倒関連費用・金融費用を吸収する余裕度も十分に高い。近年は加盟店手数料率の低下や、将来の成長に向けた販売促進費用、システム関連費用など経費の増加が利益の下押し要因となっている。もっとも、業容拡大に伴い主力のカードショッピング手数料を中心に収益が順調に増加している。また、ショッピングリボ・分割を中心にファイナンス収益が伸長していることも踏まえれば、経常利益は当面も一定水準を安定的に確保することが可能と JCR はみている。
- 資産の質の健全性は高い。営業資産は小口分散化されたクレジットカード債権が中心である。堅実な与信運営方針の下、ショッピングリボ・分割やキャッシングなどへの過大なリスクテイクはみられない。会員属性も良好であり、延滞債権比率や貸倒償却率は低水準で推移している。利息返還金リスクも僅少である。貸倒関連費用は営業資産の伸長に伴い増加しているが、営業資産対比でみれば低位でコントロールされている。今後もクレジットカード事業を軸とした保守的なリスクテイク方針が継続されるとみられ、資産の質が大きく悪化する蓋然性は低い。
- 資本充実度は格付に十分見合う。JCR 調整後の自己資本比率は良好な水準を保っており、リスク対比の資本の余裕度も高い。利益蓄積が進み資本は厚みが増しており、業容が拡大する中でも良好な資本充実度が維持できると JCR はみている。流動性に特段の懸念はない。株主や提携先を中心とした多数の金融機関と安定的な取引関係にあり、資金調達基盤は強固である。ALM も適切に運営されており、金利リスクや流動性リスクに問題はない。

（担当）坂井 英和・南澤 輝

■格付対象

発行体：株式会社ジェーシービー

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 34 回無担保社債（適格機関投資家限定）	40 億円	2021 年 9 月 22 日	2026 年 9 月 18 日	0.190%	AA
第 35 回無担保社債（適格機関投資家限定）	50 億円	2023 年 12 月 21 日	2028 年 12 月 21 日	0.927%	AA
第 36 回無担保社債（適格機関投資家限定）	40 億円	2024 年 9 月 12 日	2029 年 9 月 12 日	0.925%	AA

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	6,000 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 6 月 11 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「クレジットカード・信販」(2022 年 6 月 21 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ジェーシービー
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル